

The consortium of universities in Akita

# 大学コンソーシアムあきた

令和3年度事業報告



秋 田 大 学  
秋 田 県 立 大 学  
国 際 教 養 大 学  
ノースアジア大学  
秋 田 看 護 福 祉 大 学  
日 本 赤 十 字 秋 田 看 護 大 学  
秋 田 公 立 美 術 大 学  
秋 田 栄 養 短 期 大 学  
聖 霊 女 子 短 期 大 学  
日 本 赤 十 字 秋 田 短 期 大 学  
聖 園 学 園 短 期 大 学  
秋 田 工 業 高 等 専 門 学 校  
放 送 大 学 秋 田 学 習 セ ン タ ー  
秋 田 職 業 能 力 開 発 短 期 大 学 校



## ごあいさつ

大学コンソーシアムあきた

理事長 **山 本 文 雄** (秋田大学長)

冒頭、ウクライナの学生さんへの支援に関しまして、令和3年度の事業報告から逸脱いたしますが、御礼を述べさせていただきます。令和4年の2月24日、ロシアの侵攻により、ウクライナでは多くの方が亡くなったり、町が完全に破壊されたりする大変な事態に陥り、全世界の方々が心を痛めている状況ですが、秋田大学でも、修学の機会を奪われたウクライナの学生さんたちに修学の場を提供すべく立ち上がりました。JASSOを通じての支援表明により、多くの学生さんたちから問い合わせをいただき、秋田大学だけでは対応できない状況となり、大学コンソーシアムあきた各機関の学長、理事長、校長、所長にご協力をお願いしたところ、すべての方々から快諾をいただきましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成17年3月に設立された大学コンソーシアムあきたは、この3月に満17年を迎えました。この間、大学をはじめとする県内の高等教育機関が連携し、相互交流や教育・学術研究活動の活性化、地域貢献活動の推進に努め、一定の成果をあげることができましたこと、関係者の皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。

このたび、足掛け3年間において、新型コロナの感染拡大により、特に大学コンソーシアムあきた各機関においては3密回避対策の中での教育研究の進め方、社会貢献活動の自粛など、その対策に大変な労力を使われたことと思います。一方で、学生さんたちの日常生活は大きく変わり、大学に行けない事態やアルバイトができない状態が続き、精神的にも経済的にも大きな負荷がかかったものと思います。学生さんたちの中には、一日一食で過ごしている方もいるとの情報から、学生さんたちへの経済支援を行うために、大学コンソーシアムあきたへの支援を秋田経済同友会（代表幹事 佐川博之様）をお願いいたしましたところ、1,040万円の支援金をいただくことができました。この支援金は、各機関に学生数に応じて分配いただきましたが、皆さんから感謝の言葉をいただき、秋田経済同友会にもお伝えしたところであります。

さて、秋田県は少子高齢化の著しい進行により、様々な問題が惹起しておりますことは、皆様もご存知の事と存じますが、その問題解決に当コンソーシアムももっともっと尽力していかなければならないと感じております。18歳人口の減少に歯止めをかけるべく、特に、県内大学が県内外の受験生から進学先として選ばれることは、当コンソーシアムにとって最も重要な課題であります。こういった課題解決に資するよう、今後も引き続き各大学等有する教育研究資源のすばらしさを、県民にしっかり理解していただき、構成機関相互の交流と教育・学術研究活動の活性化に邁進すると同時に、少しでもこういった面からの地域社会貢献に繋げていくよう頑張りたいと存じます。

令和3年度の当コンソーシアムの事業は、中等教育部門への教育資源提供のための高大連携授業、秋田県内の学生等を対象とした単位互換事業、学生が自主的に共同で取り組む活動に支援を行う学生交流活動支援事業、教員の連携による学際的研究プロジェクトなどを中心に活動を行ってまいりました。対面での活動が大きく制限されたものもあり、例年どおりの実績をあげることができなかった面もございますが、その活動実績について本報告書にまとめておりますので、是非ご一読ください。

特に、高校生が大学等の講義を受講できる高大連携授業については、秋田県内各高等学校にご協力いただき、平成29年度より県北・県南地域の高等学校を会場とした授業も開講しており、令和3年度は前後期あわせて約1,120名の申込がありました。県内高校生の進路選択の一助として、引き続き積極的に当コンソーシアムの資源をご活用いただければ幸いです。

末筆ではございますが、ここ秋田において当コンソーシアムの活動を一層充実させ、秋田の高等教育機関が有する知的資源を県民の皆さまに提供し、秋田県を持つ重要な問題、少子高齢化、人口減少の歯止めにも少しでも貢献できるよう、より活発に活動していく所存でございますので、今後とも本コンソーシアム事業の発展にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 高大連携授業

高校生を対象に各大学が企画授業を提供することにより大学の授業科目の一端に触れてもらい、学問への興味喚起と進路について考えてもらう機会を提供した。

### 前期開講科目

科目名	科目担当者	受講者数
1 英語の楽しさ再発見	秋田大学教育文化学部 准教授 若有保彦(計6名)	18
2 たのしく学ぼう!算数・数学	秋田大学教育文化学部 講師 加藤慎一	12
3 フランス語・フランス文化入門	秋田大学教育文化学部 准教授 辻野稔哉	9
4 地域資源と地域活性化	秋田大学教育文化学部 准教授 白木智昭	31
5 最新の遺伝子組換え技術への道(基礎)	秋田大学理工学部 教授 疋田正喜	23
6 最新の遺伝子組換え技術への道(応用)	秋田大学理工学部 教授 疋田正喜	11
7 基礎から創薬までを学ぶ生命科学(1)(基礎)	秋田大学理工学部 教授 尾高雅文	22
8 基礎から創薬までを学ぶ生命科学(2)(応用)	秋田大学理工学部 教授 尾高雅文	8
9 身近な有機化学・有機化合物	秋田大学理工学部 教授 藤原憲秀	14
10 高校生のための応用化学	秋田大学理工学部 教授 加藤純雄(計5名)	8
11 脱炭素社会と電気化学	秋田大学理工学部 講師 高橋弘樹	10
12 再生可能エネルギー入門	秋田大学理工学部 教授 熊谷誠治	10
13 高校生のための最新人間情報学	秋田大学理工学部 教授 有川正俊(計3名)	14
14 3次元CADでシミュレーションを覗いてみようin秋田	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 高橋武彦	5
15 3次元CADでシミュレーションを覗いてみようin本荘	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 高橋武彦	2
16 宇宙プラズマ科学入門	秋田県立大学システム科学技術学部 教授 杉本尚哉	3
17 プログラミング言語Python入門	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 廣田千明(計3名)	14
18 C言語プログラミング	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 廣田千明(計4名)	2
19 コンピュータ,役に立ちます	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 廣田千明(計4名)	2
20 ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 込山敦司	10
21 ドローンを作って飛ばそう	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 嶋崎真仁(計6名)	19
22 高校数学から大学への数学へ	秋田県立大学システム科学技術学部 教授 木村寛	10
23 日本人のための英会話基礎練習	秋田県立大学総合科学教育研究センター 准教授 山崎健一	4
24 バイオテクノロジーへの招待	秋田県立大学生物資源科学部 准教授 村口元(計6名)	15
25 植物アグリサイエンスのいま!	秋田県立大学生物資源科学部 准教授 櫻井健二(計4名)	6
26 生物環境科学への招待	秋田県立大学生物資源科学部 准教授 井上誠(計3名)	10
27 高校生のためのアグリビジネス入門	秋田県立大学生物資源科学部 教授 岡田直樹(計4名)	6
28 おもしろ生物学 ここだけのはなし	秋田県立大学生物資源科学部 准教授 永澤信洋(計4名)	16
29 国際教養学への招待	国際教養大学国際教養学部 助教 ルーク・ディリー(計4名)	24
30 国際機関勤務から見た国際教養	ノースアジア大学経済学部 教授 坂元浩一	9
31 現代経済学の基礎	ノースアジア大学経済学部 准教授 西巻丈児	12
32 なぜ学校は必要なのか?	ノースアジア大学経済学部 准教授 市原光匡	8
33 グローバルイシューと日本の役割	ノースアジア大学法学部 准教授 佐藤克枝	5
34 心理学と人間科学からみた法学	ノースアジア大学法学部 准教授 瀧澤純	50
35 キリスト教,ヨーロッパ,政治思想	ノースアジア大学法学部 講師 中村逸春	5
36 留学のすすめ	ノースアジア大学法学部 准教授 三浦薫	9
37 言語と文化を巡るツアー	ノースアジア大学法学部 准教授 ディファルコ・リーアーン(計3名)	8
38 AIとロボット,プログラミングの基礎	ノースアジア大学法学部 准教授 瀧森威	8
39 ようこそ看護学の世界へ	秋田看護福祉大学看護福祉学部 教授 渡邊知子(計4名)	26
40 医療と福祉の探究	秋田看護福祉大学看護福祉学部 准教授 石岡和志(計4名)	43
41 高校生のための看護学入門	日本赤十字秋田看護大学看護学部 准教授 糸川紅子(計2名)	50
42 超絶素描の体操	秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻 教授 藤浩志	15
43 イラストレーション演習	秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻 教授 小田英之	10
44 型染でホントの「マイ・バッグ」を作ろう!	秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻 准教授 森香織	8
45 リ・デザイン	秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻 教授 阪口正太郎	15
46 景観デザインワークショップ	秋田公立美術大学景観デザイン専攻 准教授 菅原香織	8
47 都市・建築の(かたち)を考える	秋田公立美術大学景観デザイン専攻 助教 井上宗則	8
48 首里城に見る琉球王朝文化の建築様式	秋田公立美術大学美術教育センター 教授 澤田享	6
49 食生活と健康	秋田栄養短期大学栄養学科 教授 廣川忠男(計4名)	20
50 ようこそ保育の道へ	聖霊女子短期大学生活文化科 講師 畠山君子(計5名)	18
51 身近な社会福祉の問題を考えてみよう	日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科 教授 土室修(計2名)	18
52 楽しく学べる保育科入門	聖園学園短期大学保育科 准教授 猿田興子(計5名)	45
53 AI入門	秋田職業能力開発短期大学校電子情報技術科 教授 浅野英樹	5

受講者数 合計 747

## 後期開講科目

科目名	科目担当者	受講者数
1 生活の中の算数・数学	秋田大学教育文化学部 講師 加藤慎一	6
2 フランス語・フランス文化入門	秋田大学教育文化学部 准教授 辻野稔哉	7
3 秋田の今とこれから〈中央会場〉	秋田大学教育文化学部 准教授 白木智昭	8
4 中世ヨーロッパにおけるベスト大流行	秋田大学教育文化学部 准教授 佐藤猛	8
5 覗いてみようメディカルスタッフの研究	秋田大学医学部 助教 石井奈智子(計3名)	16
6 身近な有機化学・有機化合物	秋田大学理工学部 教授 藤原憲秀	6
7 化学の目で最新のニュース解説	秋田大学理工学部 教授 寺境光俊(計3名)	21
8 超高齢社会へ貢献する医用システム工学	秋田大学理工学部 教授 長縄明大(計6名)	9
9 教職の世界〈中央会場〉*	秋田大学 客員教授 伊藤成年	24
10 AI・ロボット時代のメカトロニクス	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 岡本洋(計4名)	3
11 コンピュータ, もっと役に立ちます	秋田県立大学システム科学技術学部 助教 寺田裕樹(計3名)	6
12 データと数学	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 星野満博	2
13 ヨーロッパの駅	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 込山敦司	6
14 「女性の街づくり」マーケティング	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 嶋崎真仁(計3名)	6
15 不思議な木	秋田県立大学木材高度加工研究所 教授 高田克彦(計4名)	4
16 国際教養学への招待	国際教養大学国際教養学部 助教 リー・スンキュー(計3名)	24
17 日本商工会議所簿記検定試験3級に合格しよう	ノースアジア大学経済学部 教授 國井法夫	8
18 外国語と文化で学ぶ国際ビジネス	ノースアジア大学経済学部 教授 坂元浩一	7
19 世界史と法学	ノースアジア大学法学部 教授 佐藤寛稔	6
20 心理学でオセロを分析しよう	ノースアジア大学法学部 准教授 瀧澤純	12
21 言語と世界	ノースアジア大学法学部 准教授 三浦薫	5
22 エアラインサービス	ノースアジア大学法学部 教授 横田恵三郎	6
23 文学でたどる世界遺産の旅Ⅱ	ノースアジア大学法学部 教授 橋元志保	8
24 ディズニーランドの観光学	ノースアジア大学法学部 准教授 井上寛	16
25 ジブリアニメの舞台を旅する観光学	ノースアジア大学法学部 准教授 井上寛	16
26 ホスピタリティ&コミュニケーション〈金曜開催〉	ノースアジア大学法学部 教授 千葉隆一	5
27 高校生のための看護学入門	日本赤十字秋田看護大学看護学部 特任教授 小笹典子(計2名)	49
28 パッケージデザインとは？	秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻 教授 孔鎮烈	6
29 食品と栄養の基礎知識	聖霊女子短期大学生活文化科 教授 塚田三香子(計4名)	8
30 高校生のための介護福祉入門	日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科 講師 及川真一(計2名)	16
31 木造住宅の設計からCG作成を体験	秋田職業能力開発短期大学校住居環境科 准教授 小林健	7
32 教職の世界〈県北会場〉*	秋田大学 客員教授 伊藤成年	30
33 教職の世界〈県南会場〉	秋田大学 客員教授 伊藤成年	9

受講者数 合計 370

\*秋田大学の令和3年度『教師ミニミニ体験』事業 高校生教職体験プログラム事業参加者を含む

## 受講申込者の内訳

### ● 学年別 (実人員)

	令和3年度 〈前期81科目〉	令和3年度 〈後期52科目〉	令和2年度 〈前期66科目〉	令和2年度 〈後期92科目〉	令和元年度 〈前期54科目〉	令和元年度 〈後期45科目〉
1年生	110人 (17.0%)	75人 (23.2%)	令和2年度前期は 中止	91人 (20.8%)	126人 (15.7%)	135人 (29.5%)
2年生	195人 (30.1%)	217人 (67.2%)		302人 (69.1%)	309人 (38.5%)	263人 (57.5%)
3年生	343人 (52.9%)	31人 (9.6%)		44人 (10.1%)	368人 (45.8%)	59人 (12.9%)
合計	648人 (100.0%)	323人 (100.0%)		437人 (100.0%)	803人 (100.0%)	457人 (100.0%)

	平成30年度 〈前期40科目〉	平成30年度 〈後期44科目〉	平成29年度 〈前期37科目〉	平成29年度 〈後期54科目〉
1年生	155人 (21.6%)	197人 (43.5%)	126人 (21.8%)	89人 (31.8%)
2年生	278人 (38.7%)	215人 (47.5%)	156人 (26.9%)	127人 (45.4%)
3年生	286人 (39.8%)	41人 (9.1%)	297人 (51.3%)	64人 (22.9%)
合計	719人 (100.0%)	453人 (100.0%)	579人 (100.0%)	280人 (100.0%)

● 地域別（実人員）

	令和3年度 〈前期81科目〉	令和3年度 〈後期52科目〉	令和2年度 〈前期66科目〉	令和2年度 〈後期92科目〉	令和元年度 〈前期54科目〉	令和元年度 〈後期45科目〉
鹿角小坂地域	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	令和2年度前期は 中止	2人 (0.5%)	2人 (0.2%)	1人 (0.2%)
大館北秋地域	24人 (3.7%)	38人 (11.8%)		40人 (9.2%)	64人 (8.0%)	41人 (9.0%)
能代山本地域	54人 (8.3%)	20人 (6.2%)		66人 (15.1%)	59人 (7.3%)	69人 (15.1%)
秋田男鹿地域	300人 (46.3%)	154人 (47.7%)		195人 (44.6%)	489人 (60.9%)	266人 (58.2%)
本荘由利地域	124人 (19.1%)	38人 (11.8%)		32人 (7.3%)	71人 (8.8%)	38人 (8.3%)
大曲仙北地域	37人 (5.7%)	45人 (13.9%)		45人 (10.3%)	75人 (9.3%)	10人 (2.2%)
横手平鹿地域	23人 (3.5%)	6人 (1.9%)		29人 (6.6%)	16人 (2.0%)	4人 (0.9%)
湯沢雄勝地域	86人 (13.3%)	22人 (6.8%)		28人 (6.4%)	27人 (3.4%)	28人 (6.1%)
合計	648人 (100.0%)	323人 (100.0%)		437人 (100.0%)	803人 (100.0%)	457人 (100.0%)

	平成30年度 〈前期40科目〉	平成30年度 〈後期44科目〉	平成29年度 〈前期37科目〉	平成29年度 〈後期54科目〉
鹿角小坂地域	12人 (1.7%)	0人 (0.0%)	9人 (1.6%)	2人 (0.7%)
大館北秋地域	70人 (9.7%)	26人 (5.7%)	82人 (14.2%)	20人 (7.1%)
能代山本地域	41人 (5.7%)	39人 (8.6%)	31人 (5.4%)	28人 (10.0%)
秋田男鹿地域	417人 (58.0%)	292人 (64.5%)	312人 (53.9%)	134人 (47.9%)
本荘由利地域	52人 (7.2%)	36人 (7.9%)	42人 (7.3%)	26人 (9.3%)
大曲仙北地域	30人 (4.2%)	6人 (1.3%)	62人 (10.7%)	41人 (14.6%)
横手平鹿地域	38人 (5.3%)	14人 (3.1%)	29人 (5.0%)	24人 (8.6%)
湯沢雄勝地域	59人 (8.2%)	40人 (8.8%)	12人 (2.1%)	5人 (1.8%)
合計	719人 (100.0%)	453人 (100.0%)	579人 (100.0%)	280人 (100.0%)

## ■ 単位互換授業

秋田県における大学、短期大学及び高等専門学校間の単位互換に関する協定及び授業の運営状況

### 1. 科目提供の状況

No.	機関名	年度	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	秋田大学		27	16	63	37	53	38	22	20	38	21
2	秋田県立大学		192	196	195	188	194	194	193	174	196	189
3	国際教養大学		2	2	2	3	3	5	2	2	3	2
4	ノースアジア大学		18	0	21	16	22	16	19	17	20	19
5	秋田看護福祉大学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	日本赤十字秋田看護大学		3	3	3	3	3	3	4	3	4	3
7	秋田公立美術大学		10	6	10	5	8	5	11	6	12	0
8	秋田栄養短期大学		2	0	0	1	4	2	4	1	4	1
9	聖霊女子短期大学		3	0	3	3	3	3	3	3	3	3
10	日本赤十字秋田短期大学		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11	聖園学園短期大学		1	0	1	0	1	0	1	0	1	1
12	秋田工業高等専門学校		0	2	0	3	0	3	0	2	0	2
	計		259	226	299	260	292	270	260	229	282	242

### 2. 履修登録者の状況

年度・期	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
科目延べ人数	3	0	6	4	4	2	3	1	1	1
科目数	3	0	4	3	3	2	3	1	1	1
協定	H22. 4. 1 ~ 12機関									

### 3. 令和3年度 履修登録者内訳

〈前期〉 国際教養大学 → 秋田公立美術大学「東洋美術史」  
 聖霊女子短期大学 → 秋田公立美術大学「文化人類学特論」  
 聖霊女子短期大学 → 秋田公立美術大学「日本彫刻史」

延べ 3人 3科目

〈後期〉 なし

## FD・SD事業

県内の14高等教育機関における教育機能の強化を目的に、2年ぶりに高等教育セミナーを実施。これまでのコロナ禍における授業や取組を今一度振り返るとともに、新たな時代に求められるICTを活用した教育について深く学べるようなプログラムを企画した。

テーマ	「新たな時代の大学教育～ICTを活用した授業のあり方について考える」
日時	令和3年11月29日（月）14：00～16：00
開催場所	オンライン実施（Zoom）
実施内容	基調講演（70分） 演題「新たな時代の大学教育～ICTを活用した授業のあり方について考える」 講師 村上 正行 氏（大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部）
参加者数	73名（スタッフ含む）

## 職員研修事業

構成機関教職員の大学運営に関する能力をはじめ、幅広い知識の涵養など一層の資質向上をねらう研修事業はオンラインでの開催となった。

### 【第18回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム】

日時	令和3年9月11日（土）10：00～15：30
テーマ	大学コンソーシアムの再考と再興 ～ニューノーマル時代に大学コンソーシアムが切り拓く可能性とは～
会場	オンライン実施（Zoom）

#### ○基調講演

【講演者】大石 利光 氏（学校法人大阪電気通信大学 理事長・学長）

【テーマ】マネジメント改革による大学運営の再考と再興

#### ○シンポジウム「産・官・学におけるそれぞれの連携取組の現状と今後求められること」

大石 利光 氏（上掲）

矢田 昌己 氏（大阪府政策企画部企画室推進課 課長）

東 潤一 氏（大阪商工会議所 産業部 ライフサイエンス・スポーツ産業振興担当課長）

#### 【コーディネーター】

久 隆浩 氏（近畿大学 総合社会学部 教授）

#### ○分科会

第1分科会（特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム）

テーマ 大学コンソーシアムにおけるFD・SD事業の検証と今後に向けて  
～大学改革の中で今後求められるFD・SDを考える～

第2分科会（公益財団法人 大学コンソーシアム京都）

テーマ 大学コンソーシアム発のインターンシップ  
～京都の事例から～

第3分科会（特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪）

テーマ 10年後の姿から見るキャリア教育の在り方  
～コロナ禍の新しい教育実践を未来に繋げる～

第4分科会（全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会）

テーマ 大学コンソーシアムの活動・組織の再考  
～ニューノーマル時代の大学・地域の発展のための  
より良い連携の在り方と組織のかたちを考える～第3弾

## ■ 学生交流活動支援事業

大学コンソーシアムあきた構成機関の学生が共同して取り組んでいるボランティア、地域貢献、国際交流等の活動に対し、経済的支援を行った。

### (1) 「秋田県学生スタジアム構想プロジェクト」

参加団体名 秋田県学生スタジアム構想プロジェクト（秋田県立大学）

活動概要 現在、秋田県において、外旭川地区を中心とした秋田県の新スタジアム整備が話題となっていること、また、スタジアムがもたらす社会的価値が認知されておらず、今日のスタジアム整備に向けた動向が足踏み状態になっている。

そのような背景を踏まえ、本事業では、多くの秋田県内の学生を募り、秋田県の新スタジアム創設をテーマにシンポジウムで寄せられた若者たちの言葉やその想いを、イメージ図・構想図の形にし、PVを作成した。

作成した「プロジェクト動画」は東北電力主催の学生ムービーコンテスト「TOHOKU LOVE GAKUSEI MOVIE CONTEST」に出品し、一般投票による「オーディエンス賞」を獲得している。

## ■ 学際的研究プロジェクト

大学コンソーシアムあきた構成機関の研究者が共同して取り組む秋田県の地域課題の解決や活性化に結びつく研究、本構成機関の教育開発に寄与する調査研究等に経費の助成を行った。

### (1) 「新型コロナウイルス感染症が地域観光に及ぼす影響に関する研究」

研究者 秋田大学 教育文化学部 白木 智昭（プロジェクト代表）

秋田大学 産学連携推進機構 伊藤 慎一

秋田県立大学 システム科学技術学部 嶋崎 善章

研究概要 北東北地域では、これまでの観光誘客の中心であったインバウンドの途絶や夏祭りの中止等の影響が深刻であると予想。地域内の観光関連分野へのダメージを把握するため、観光団体や行政機関等へのインタビュー調査を行い、新型コロナウイルス感染症の影響の実態調査。同時に観光関連分野への支援及び効果的な支援施策について情報収集を行った。

秋田の大学間連携活動はこちら！  
大学コンソーシアムあきたの情報はホームページで  
ご案内しております。



大学コンソーシアムあきたホームページURL

<https://www.consortium-akita.jp>

大学コンソーシアムあきたの活動拠点

カレッジプラザ



JR秋田駅西口から600m、ほほろ一丁目・仲小路を直進、徒歩10分

大学コンソーシアムあきた事務局  
〒010-8502  
秋田市手形学園町1-1  
秋田大学総合学務課内  
Tel 018(889)2843  
Fax 018(889)3194

カレッジプラザ  
〒010-0001  
秋田市中通2-1-51 明徳館ビル2F  
Tel 018(825)5455  
Fax 018(836)5388

[令和4年8月発行]